

令和 2 年 6 月 9 日現在

機関番号：82401

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05898

研究課題名(和文) 脂肪酸クオリティの最先端リポミクスと生理的意義の解明

研究課題名(英文) Advanced lipidomics to illuminate the physiological importance of LipoQuality

研究代表者

有田 誠 (ARITA, Makoto)

国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・チームリーダー

研究者番号：80292952

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 193,130,000円

研究成果の概要(和文)：脂質分子種の構造多様性を正確かつ幅広く捉えることは、病態やバイオロジーの制御における脂質の役割を理解する上で重要である。さらに新しい機能性脂質の発見は新しいバイオロジーの理解にもつながる。本研究では、8000種以上の脂質多様性を見極めるノンターゲットリポミクス基盤技術を構築し、ターゲット解析と組み合わせることで探索範囲の拡大およびデータ精度の向上が達成された。これにより、各種病態や組織恒常性を形成・制御する脂肪酸代謝系の役割について、多くの新しい知見が生まれた。また、脂質イメージング技術開発として、200nmの分解能で細胞内の脂肪酸局在を捉えることに成功した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本計画研究では、脂質の構造多様性やその分布・局在を可視化するための独創的かつ革新的な分析手法を確立した。これにより、脂質の質(リポクオリティ)が関わるバイオロジーの解明、さらに未知の生理活性脂質の同定が進むことが期待される。また、リポクオリティの変化による疾患制御の概念実証、および治療標的となりうる機能作用点の特定を目指す研究が推進され、多分野に脂質研究の裾野が広がることが期待される。

研究成果の概要(英文)：Precise and global determination of each molecular species of lipid is a prerequisite for understanding their functions in physiology and disease, and for discovering novel bioactive lipids that may hold key to understand biology. In this study, we successfully established a non-targeted lipidomics platform that covers more than 8000 species of lipids. This system, when combined with targeted analysis, enabled us to capture lipid profiles more comprehensively, accurately and unbiasedly. This platform is powerful for visualizing lipid networks unbiasedly, and opened up a new avenue for discovering novel links between lipid metabolism and biological phenotypes. As for lipid imaging, we could successfully image fatty acid localization within single cells at a resolution of 200 nm.

研究分野：脂質生化学

キーワード：脂質 メタボロミクス 生理活性 生体成分 イメージング 質量分析

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

生体内には多様な脂肪酸分子種が存在し、その質(リポクオリティ)の違いや代謝バランスの変化が、様々な炎症・代謝性疾患の背後に潜む重要な要素であることが示唆されている。本研究では、炎症・代謝性疾患に潜む分子メカニズムをリポクオリティの違いという観点から明らかにし、病態解明および新しい治療に向けた理論基盤の構築を目指す。一方で、リポクオリティの変化をもたらす様々な表現型についてそのメカニズムを明らかにする上で欠かせないのが、リポクオリティの違いをより広範囲に捉え、かつ明確に区別することができる分析システムの開発である。すなわち、特定の分子種を選択的かつ定量的に測定する従来型のターゲット解析に加え、分子種を特定しないノンターゲット解析を組み合わせることで、探索範囲の飛躍的な拡大および解析データの質の向上が得られる。これらを実現するために、複雑なノンターゲット解析データを新たなアルゴリズムで効率よく解読するためのソフトウェアの開発や、より広範囲の化合物ライブラリーとデータベースを整備し、客観性と網羅性の高い分析を実現する必要がある。さらに、リポクオリティの理解をより深める上で、脂質分子レベルでの局在やその動態を把握する可視化技術も不可欠である。そこで、局在の可視化技術をオルガネラレベルに進展させ、脂質多様性の多階層的な分布様式の解明に取り組む。

2. 研究の目的

リポクオリティの生理的意義の解明を目標に据え、その違いを明確に識別し、広範囲での探索研究を可能にするノンターゲット型リポドミクスの実現、リポクオリティの変化に起因する表現型および動作機序の解明、およびリポクオリティの違いを機能的に反映する脂質代謝系を見出し、その機能発現に関わる活性代謝物の同定を目指す。また、リポドミクス解析と脂質イメージング技術と組み合わせることで、未解明の脂質動態や不均一分布の存在を示し、その生物学的機能との関連を探るための手がかりを得る。具体的には以下の3項目で研究を遂行する。

- (1) リポドミクスの新たな方法論の創出と技術展開(有田、有田(正)、池田、津川)
- (2) 脂肪酸代謝バランスの変化による疾患制御の分子メカニズム解析(有田)
- (3) 脂質イメージングの技術開発と応用(瀬藤)

3. 研究の方法

(1) リポドミクスの新たな方法論の創出と技術展開

特定の分子種を選択的かつ定量的に測定する従来型のターゲット解析に加え、分子種を特定しないノンターゲット解析を組み合わせること(マルチリポドミクス)で、探索範囲の飛躍的な拡大および解析データの質の向上を目指す。具体的には、高速液体クロマトグラフィーとトリプル四重極型質量分析計を連結したMRM解析システムによるワイドターゲット解析に加え、四重極飛行時間型(Q-TOF型)質量分析計を用いた広範囲データ収集、および複雑なノンターゲット解析データを新たなアルゴリズムで効率よく解読するためのソフトウェアの開発を進める。さらに、定量性や同定精度を高めるための化合物ライブラリーを充実させ、実測データに基づく脂質データベースの整備を進める。

(2) 脂肪酸代謝バランスの変化による疾患制御の分子メカニズム解析

生体内には多様な脂肪酸分子種が存在し、その質(リポクオリティ)の違いや代謝バランスの変化が、様々な炎症・代謝性疾患の背後に潜む重要な要素であることが示唆されている。本研究では脂肪酸合成・代謝酵素の遺伝子改変動物、あるいは異なる脂肪酸を含む栄養要因によって人為的に脂肪酸代謝バランスが変化した状況を作り出し、これとマルチリポド

ミクス解析とを組み合わせることによって、炎症・代謝性疾患における脂肪酸クオリティの変化に起因する表現型および動作機序の解明を目指す。さらに、リポクオリティの違いを機能的に反映する脂質代謝系を見出し、その機能発現に関わる活性代謝物の同定を目指す。

(3) 脂質イメージングの技術開発と応用

超解像脂質イメージングの技術開発では細胞固定法の最適化を進めると同時に、蛍光標識を用いたオルガネラ局在の光学顕微鏡観察と超高分解能の飛行時間型質量分析を用いた脂質イメージング解析を重ね合わせる事で、細胞内リポクオリティをオルガネラスケールでの可視化を目指す。光動作ユニットによるリポクオリティ局所操作については、基礎検討を重ねた上で局所でのリポクオリティ操作に伴って生じる細胞機能変化を明らかにする。

4. 研究成果

(1) リピドミクスの新たな方法論の創出と技術展開

ノンターゲットリピドミクス解析システムの構築

本計画班の大きな研究目的の1つは、リポクオリティの違いを見極める新しいリピドミクス技術の開発にある。そのためには、従来のターゲット解析に加えて、探索範囲が飛躍的に拡大するノンターゲット解析が有機的かつ効率的に繋がること不可欠である。実測データに基づくマススペクトルライブラリーの構築を進め、ノンターゲット解析から得られたMS/MSスペクトルから脂質構造を網羅的に推定するためのアルゴリズムを開発し、さらにMS/MSスペクトルのパターン認識、液体クロマトグラフィーにおける保持時間、イオンモビリティにおけるCCSの情報全てを統合することで、約8,000種のリポクオリティを捉える情報処理技術の開発に成功し、論文発表した(*Nature Biotechnol.* in press)。また、ノンターゲット解析で得た精密質量や分子の断片構造などの情報を組み合わせながら代謝物の同定を行うスペクトルネットワーク解析法を構築した。これにより、未知の脂質分子の構造推定や表現型と相関する代謝物群の抽出が可能となった。さらに脂質分子の定量結果を代謝マップに投影するシステムを構築し、疾患やバイオロジーと相関を示す代謝経路、代謝ネットワークの解析を加速させた。この技術を用いてこれまでに、ヒト魚鱗癬の原因遺伝子である脂質代謝酵素PNPLA1遺伝子欠損マウスの解析から、リノール酸が角質バリアの形成に必須な脂質 *-O-*アシルセラミドに選択的に取り込まれて皮膚バリア形成に寄与することを明らかにした。これにより、なぜリノール酸が必須脂肪酸として生体の恒常性維持に必要なのかが分子レベルで解明された(計画班C01分担・村上らと共同)(*Nature Commun.* 2017)。また、ヒトクリスタリン網膜症の網膜色素上皮細胞にコレステロールや糖脂質などの代謝異常を見出し、コレステロール引き抜きによって細胞変性、細胞死を防げることを示した(公募班・池田らと共同)(*Proc. Natl. Acad. Sci. USA* 2018)。また、アラキドン酸、EPA、DHAなど異なる脂肪酸を摂取した後の代謝動態や分布の包括的解析を行った(*Metabolites* 2019)。さらにLipidomics-Standards-Initiative (LSI)の主要メンバーとして、リピドミクス解析データのクオリティ指標について国際ガイドラインを提唱するオピニオン論文を共同発表した(*Nature Metab.* 2019)。

酸化リン脂質解析系の構築

培養細胞に各種の酸化脂肪酸を添加して酸化リン脂質の化合物ライブラリーを作成し、約400分子種のMS/MSデータライブラリーを構築した。この情報をもとにターゲット解析系を構築し、現時点で約1,400分子種の酸化リン脂質が10 fmolレベルで検出可能になった。この解析システムをマウス腹腔マクロファージに適用し、内因性に生成した酸化リン脂質が約20種類検出された(*J.*

Lipid Res. 2017)。このシステムを適用することで、好中球の NETs 形成に寄与する、内因性に生成するエーテル型酸化リン脂質が新たに同定された(東葉大・田中らと共同)(*Sci. Rep.* 2017)。

(2) 脂肪酸代謝バランスの変化による疾患制御の分子メカニズム解析

ω3脂肪酸の機能性発現に関わる酵素の同定と機能解析

ω3脂肪酸の構造に選択性を有し、抗炎症作用や組織保護作用と相関性を示す新規代謝経路を「3脂肪酸カスケード」と命名し、そのボトルネックとなる代謝酵素群をゲノムワイドスクリーニングにより同定した(*Sci. Rep.* 2017)。これら酵素のノックアウトマウスを作成し、ω3脂肪酸の機能発現における酵素および代謝経路の寄与について、個体・細胞レベルでの検討を進めている。これまでに、加齢に伴う皮膚炎(表皮の肥厚や炎症細胞の浸潤)を自然発症することを見出している。また、抗アレルギー作用を有するエイコサペンタエン酸(EPA)由来の機能性代謝物 17,18-EpETE の受容体として GPR40 を同定した(公募班・國澤らと共同)(*J. Allergy Clin. Immunol.* 2018)。

体内 3 / 6 脂肪酸バランスと疾患制御

3脂肪酸合成酵素(Fat-1)トランスジェニックマウスにおいて、NASH 様病態モデルにおける炎症性変化(crown like structure の形成)および肝線維化の強い抑制が認められた。また、3脂肪酸によるメラノーマ転移抑制作用について、EPA 由来の機能性代謝物 18-HEPE の関与を明らかにした(国際共同研究)(*Carcinogenesis* 2018)。

臓器特異的な脂肪酸クオリティの生理的意義

神経組織、網膜、精巣など特定の臓器には、ドコサヘキサエン酸(DHA)など長鎖多価不飽和脂肪酸(LC-PUFA)を含有する脂質が他の臓器に比べて多く存在している。脳の認知機能や光受容、精子形成など特殊な機能を最適化するための生体膜環境の構築に、LC-PUFA 含有脂質が重要な役割を果たしていると考えられている。我々は、長鎖アシル CoA 合成酵素(ACSL6)が精巣、脳、網膜などに特徴的に発現しており、臓器特異的な LC-PUFA 含有脂質の分布や局在を制御する役割を担うことを明らかにした。さらに、その機能が欠損すると精細胞の形成異常から雄性不妊となることを報告した(*FASEB J.* 2019)。以上より、組織の脂肪酸バランスを維持することが正常機能の発現や維持において重要であることが明らかになった。今後、これら酵素の機能調節、あるいは LC-PUFA を適切に補うことによる組織の脂肪酸バランスの調節が、予防医療や治療戦略につながる可能性が期待される。

アレルギー性好酸球の脂肪酸代謝バランス異常と疾患制御

ヒト慢性副鼻腔炎の鼻茸組織に存在する好酸球を単離し、リポドミクス、プロテオミクス、トランスクリプトミクスを組み合わせる多層オミクス解析を行った。その結果、アレルギー患者由来の好酸球に顕著な脂肪酸代謝バランスの異常(ロイコトリエン D₄ 産生の亢進、産生酵素 GGT5 の発現誘導、15-リポキシゲナーゼ、シクロオキシゲナーゼ系代謝物の低下)を見出し、新たな創薬標的およびバイオマーカーとしての可能性を示した(*Allergy* 2019)。

腸内細菌のユニークな脂肪酸代謝系と疾患制御

腸内細菌(乳酸菌)が生成するリノール酸代謝物 HYA (10-hydroxy-cis-12-octadecenoic acid)が、肥満による耐糖能異常に対し、腸管ホルモン GLP-1 分泌亢進を伴う改善効果を示すことを明らかにした(公募班木村との共同)(*Nature Commun.* 2019)。

(3) 脂質イメージングの技術開発と応用

脂質イメージングの技術開発: 脂質イメージングの MALDI 法のサンプルの前処理を検討し

た結果、マトリックスのスプレー時に硫酸アンモニウムを添加剤として用いることによって、第4級アンモニウムイオンを持つ化合物のイオン化が10倍以上の改善できた (*Anal. Chem.* 2016)。また、アルゴンガスクラスタイオンビームを用いた細胞表面のスパッタリングにより3次元のイメージング像を取得することに成功した (*Sci. Rep.* 2015)。

飛行時間型二次イオン質量分析による超解像脂質イメージング：当初、イオン化の感度不足が問題になると予想しポストイオン化による感度向上を予定したが、脳組織切片を用いた解析で200nmの分解能で細胞内の脂肪酸が検出され感度は十分あることがわかった。一方、予想に反して分布は明瞭でなかった。その理由として、脂質に対する固定処理が最適ではなく細胞内分布が失われたのではないかと考えた。そこで、ポストイオン化法に変えて脂質の固定法の最適化を行ったところ、脂肪酸の細胞内分布が見え始めた。新規細胞固定法とアンルーフィング法を併用したTOF-SIMSによる細胞内部の脂肪酸イオン分布と細胞超微形態の同時観察において、細胞内部の脂肪酸イオンおよびコリン由来イオンの分布像を細胞の形態と共に得る事に成功した。

大腸がん組織の脂質イメージング：スフェロイド培養した大腸がん患者由来の細胞を質量顕微鏡法で観察した結果、スフェロイドの辺縁部でアラキドン酸含有PIPが特徴的に集積していることを見出した (*Sci. Rep.* 2016)。同様の脂質分布が患者のがん組織のがん細胞の辺縁部でも確認ができた。

動脈硬化巣の脂質イメージング：EPAやDHAを投与した動脈硬化モデルマウス (APO-E ノックアウトマウス) の弁部および弓部を質量顕微鏡法および免疫染色法で解析し、動脈硬化プラークに対するEPAとDHAの作用の違いを組織学的に明らかにした (*Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.* 2019)。

神経初代培養系における軸索および細胞体の脂質イメージング：マイクロ流路デバイスを用いて、海馬神経の初代培養の細胞体と軸索の分離を試み、同位体ラベルしたパルミチン酸を局所投与した結果、神経細胞内順行性輸送が逆行性に比べて優位である事を見出した。光動作ユニットによる細胞内リポクオリティの操作：当初計画していた光作動ユニットとモータータンパクを利用した光刺激により脂質代謝酵素の局在を変化させる系は、細胞質のタンパクには適さないということがわかった。そこで、光や薬剤投与による脂質操作の系では、細胞内脂質合成の中心的な場である小胞体の細胞内局在を光応答的に制御する系を樹立し、小胞体の局在を細胞辺縁に固定する事で細胞肥大化と多核化を引き起こすと同時に、セラミドを筆頭に脂質組成が大きく変わる事を見出した。

脳内リポクオリティの観察：統合失調症患者脳の前頭前皮質において、アラキドン酸含有PIが特徴的に減少していることを見出した (*Sci. Rep.* 2017)。質量顕微鏡法で得られたデータを機械学習により自動解析する事で、マウス脳の分子分布パターンを大別し、小脳皮質特異的に分布する脂質群を発見した (*Sci. Rep.* 2019)。認知症モデルマウスにグリーンナッツオイルを投与する事で、認知症の改善効果を見出し、その時の脳局所における脂肪酸分布の変化を明らかにした (*Nutrients* 2019)。

腎細胞癌の脱離エレクトロスプレーイオン化イメージング解析で、癌部に遊離脂肪酸など数種類のバイオマーカーを検出し、オレイン酸レベルと癌の予後に相関がある事を報告した (*Oncotarget* 2019)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計154件（うち査読付論文 111件／うち国際共著 31件／うちオープンアクセス 84件）

1. 著者名 Tsugawa H, Ikeda K, Takahashi M, Satoh A, Mori Y, Uchino H, Okahashi N, Yamada Y, Tada I, Bonini P, Higashi Y, Okazaki Y, Zhou Z, Zhu Z, Koelmel J, Cajka T, Fiehn O, Saito K, Arita M, Arita M.	4. 巻 in press
2. 論文標題 A lipidome atlas in MS-DIAL 4.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Biotechnol	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41587-020-0531-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Kimura I, Miyamoto J, Ohue-Kitano R, Watanabe K, Yamada T, Onuki M, Aoki R, Isobe Y, Kashihara D, Inoue D, Inaba A, Takamura Y, Taira S, Kumaki S, Watanabe M, Ito M, Nakagawa F, Irie J, Kakuta H, Shinohara M, Iwatsuki K, Tsujimoto G, Ohno H, Arita M, Itoh H, Hase K.	4. 巻 367
2. 論文標題 Maternal gut microbiota in pregnancy influences offspring metabolic phenotype.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 eaaw8429
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1126/science.aaw8429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Morita M, Saito S, Shinohara R, Aoyagi R, Arita M, Kobayashi Y.	4. 巻 31
2. 論文標題 Synthesis of phosphatidylcholines possessing functionalized acids at sn-2, and 13C-14N and 13C-31P couplings in their 13C NMR spectra.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Synlett	6. 最初と最後の頁 718-722
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1055/s-0039-1691584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hirata SI, Nagatake T, Sawane K, Hosomi K, Honda T, Ono S, Ikeda K, Aoyagi R, Adachi J, Abe Y, Isoyama J, Suzuki H, Tomonaga T, Kiyono H, Kabashima K, Arita M, Kunisawa J.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Maternal 3 docosapentaenoic acid inhibits infant allergic dermatitis through TRAIL-expressing plasmacytoid dendritic cells in mice.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/all.14217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Shishikura K, Kuroha S, Matsueda S, Iseki H, Matsui T, Inoue A, Arita M.	4. 巻 33
2. 論文標題 Acyl-CoA synthetase 6 regulates long chain polyunsaturated fatty acid composition of membrane phospholipids in spermatids and supports normal spermatogenic processes in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 14194-14203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901074R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima Y, Sakai Y, Mizuno Y, Furuno K, Hirono K, Takatsuki S, Suzuki H, Onouchi Y, Kobayashi T, Tanabe K, Hamase K, Miyamoto T, Aoyagi R, Arita M, Yamamura K, Tanaka T, Nishio H, Takada H, Ohga S, Hara T.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Lipidomics links oxidized phosphatidylcholines and coronary arteritis in Kawasaki disease.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cardiovasc Res	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cvr/cvz305	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawane K, Nagatake T, Hosomi K, Hirata S, Adachi J, Abe Y, Isoyama J, Suzuki H, Matsunaga A, Fukumitsu S, Aida K, Tomonaga T, Arita M, Kunisawa J.	4. 巻 11
2. 論文標題 Dietary omega-3 fatty acid ameliorates allergic rhinitis via eosinophilic production of the anti-allergic lipid mediator 15-hydroxyeicosapentaenoic acid in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 E2868
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu11122868	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naoe S, Tsugawa H, Takahashi M, Ikeda K, Arita M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Characterization of lipid profiles after dietary intake of polyunsaturated fatty acids using integrated untargeted and targeted lipidomics.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 E241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9100241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Utsunomiya A, Chino T, Utsunomiya N, Luong VH, Tokuriki A, Naganuma T, Arita M, Higashi K, Saito K, Suzuki N, Ohara A, Sugai M, Sugawara K, Tsuruta D, Oyama N, Hasegawa M.	4. 巻 140
2. 論文標題 Homeostatic function of dermokine in the skin barrier and inflammation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 838-849
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2019.09.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyamoto J, Igarashi M, Watanabe K, Karaki SI, Mukoyama H, Kishino S, Li X, Ichimura A, Irie J, Sugimoto Y, Mizutani T, Sugawara T, Miki T, Ogawa J, Drucker DJ, Arita M, Itoh H, Kimura I.	4. 巻 10
2. 論文標題 Gut microbiota confers host resistance to obesity by metabolizing dietary polyunsaturated fatty acids.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 4007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11978-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato T, Horikawa M, Takei S, Yamazaki F, Ito TK, Kondo T, Sakurai T, Kahyo T, Ikegami K, Sato S, Sato R, Jinno Y, Kawano H, Naoe S, Arita M, Kashiwagi Y, Setou M.	4. 巻 39
2. 論文標題 Preferential incorporation of administered eicosapentaenoic acid into thin-cap atherosclerotic plaques.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arterioscler Thromb Vasc Biol	6. 最初と最後の頁 1802-1816
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.119.313093	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyata J., Fukunaga K., Kawashima Y., Watanabe T., Saitoh A., Hirosaki T., Araki Y., Kikawada T., Betsuyaku T., Ohara O., Arita M.	4. 巻 74
2. 論文標題 Dysregulated fatty acid metabolism in nasal polyp-derived eosinophils from patients with chronic rhinosinusitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1113-1124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H., Satoh A., Uchino H., Cajka T., Arita M., Arita M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Mass spectrometry data repository enhances novel metabolite discoveries with advances in computational metabolomics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 E119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9060119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Liebisch G., Ahrends R., Arita M., Arita M., Bowden J., Ejsing C., Griffiths W., Holcapek M., Kofeler H., Mitchell T., Wenk M., Ekroos K.	4. 巻 1
2. 論文標題 Lipidomics needs more standardization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Metabolism	6. 最初と最後の頁 745-747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42255-019-0094-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishihara T, Yoshida M, Arita M.	4. 巻 31
2. 論文標題 Omega-3 fatty acid-derived mediators that control inflammation and tissue homeostasis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 559-567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyata J, Fukunaga K, Kawashima Y, Ohara O, Arita M.	4. 巻 69
2. 論文標題 Cysteinyl leukotriene metabolism of human eosinophils in allergic disease.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Allergol Int	6. 最初と最後の頁 28-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2019.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tada I, Tsugawa H, Meister I, Zhang P, Shu R, Katsumi R, Wheelock CE, Arita M, Chaleckis R	4. 巻 9
2. 論文標題 Creating a Reliable Mass Spectral-Retention Time Library for All Ion Fragmentation-Based Metabolomics.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 E251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9110251	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsugawa H, Nakabayashi R, Mori T, Yamada Y, Takahashi M, Rai A, Sugiyama R, Yamamoto H, Nakaya T, Yamazaki M, Kooke R, Bac-Molenaar JA, Oztolan-Erol N, Keurentjes JJB, Arita M, Saito K	4. 巻 16
2. 論文標題 A cheminformatics approach to characterize metabolomes in stable-isotope-labeled organisms.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Methods	6. 最初と最後の頁 295-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41592-019-0358-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 有田誠	4. 巻 30
2. 論文標題 脂肪酸クオリティによる炎症の制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 355-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安田柁、岡橋伸幸、上田政宏、有田誠	4. 巻 30
2. 論文標題 腸内細菌のリボクオリティと生体制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 393-399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 3 脂肪酸クオリティによる疾患制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 967-970
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮田純、福永興巻、有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 アレルギー疾患における好酸球の脂肪酸代謝異常	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1008-1014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内野春希、津川裕司、有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 リポクオリティの違いを捉えるノンターゲット脂質解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1238-1244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furuhashi S, Sakaguchi T, Murakami T, Fukushima M, Morita Y, Ikegami K, Kikuchi H, Setou M, Takeuchi H.	4. 巻 49
2. 論文標題 Tenascin C in the Tumor-Nerve Microenvironment Enhances Perineural Invasion and Correlates With Locoregional Recurrence in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pancreas.	6. 最初と最後の頁 442-454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MPA.0000000000001506.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeyama E, Islam A, Watanabe N, Tsubaki H, Fukushima M, Mamun MA, Sato S, Sato T, Eto F, Yao I, Ito TK, Horikawa M, Setou M.	4. 巻 11
2. 論文標題 Dietary Intake of Green Nut Oil or DHA Ameliorates DHA Distribution in the Brain of a Mouse Model of Dementia Accompanied by Memory Recovery.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 pii: E2371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu11102371.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nampei M, Horikawa M, Ishizu K, Yamazaki F, Yamada H, Kahyo T, Setou M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Unsupervised machine learning using an imaging mass spectrometry dataset automatically reassembles grey and white matter.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49819-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hino K, Kaneko S, Harasawa T, Kimura T, Takei S, Shinohara M, Yamazaki F, Morita SY, Sato S, Kubo Y, Kono T, Setou M, Yoshioka M, Fujino J, Sugihara H, Kojima H, Yamada N, Udagawa J.	4. 巻 39
2. 論文標題 Change in brain plasmalogen composition by exposure to prenatal undernutrition leads to behavioral impairment of rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 7689-7702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2721-18.2019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato T, Horikawa M, Takei S, Yamazaki F, Ito TK, Kondo T, Sakurai T, Kahyo T, Ikegami K, Sato S, Sato R, Jinno Y, Kawano H, Naoe S, Arita M, Kashiwagi Y, Setou M.	4. 巻 39
2. 論文標題 Preferential Incorporation of Administered Eicosapentaenoic Acid Into Thin-Cap Atherosclerotic Plaques.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arterioscler Thromb Vasc Biol	6. 最初と最後の頁 1802-1816
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.119.313093.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mamun MA, Valdes Gonzalez-T, Islam A, Sato T, Sato S, Ito KT, Horikawa M, Yamazaki Fm Alarcon RC, Ido T, Setou M.	4. 巻 27
2. 論文標題 Analysis of potential anti-aging beverage Pru, a traditional Cuban refreshment, by desorption electrospray ionization-mass spectrometry and FTICR tandem mass spectrometry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Food and Drug Analysis	6. 最初と最後の頁 833-840
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jfda.2019.05.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 菊島健児、瀬藤光利	4. 巻 30
2. 論文標題 リボクオリティの可視化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤智仁、佐藤駿平、堀川誠、瀬藤光利	4. 巻 0
2. 論文標題 イメージングMS	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学別冊	6. 最初と最後の頁 268-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒牧修平、佐藤智仁、堀川誠、華表友暁、瀬藤光利	4. 巻 27
2. 論文標題 質量顕微鏡法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 79-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒牧修平、瀬藤光利	4. 巻 17
2. 論文標題 量子科学技術の生体応用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 719-731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻井孝信、瀬藤光利	4. 巻 269
2. 論文標題 組織リポクオリティのマスイメージング	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 週刊 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1245-1249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大山壮歩、堀川誠、櫻井孝信、瀬藤光利	4. 巻 70
2. 論文標題 細胞と組織の質量分析イメージング	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 化学工業	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura Keita, Horikawa Makoto, Sato Shumpei, Miyake Hideaki, Setou Mitsutoshi	4. 巻 10
2. 論文標題 Discovery of lipid biomarkers correlated with disease progression in clear cell renal cell carcinoma using desorption electrospray ionization imaging mass spectrometry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 1688-1703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26706	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Naoto, Mochizuki Takaharu, Yamazaki Fumiyoshi, Takei Shiro, Mano Hidetoshi, Matsugi Takeshi, Setou Mitsutoshi	4. 巻 14
2. 論文標題 MALDI imaging mass spectrometry revealed atropine distribution in the ocular tissues and its transit from anterior to posterior regions in the whole-eye of rabbit after topical administration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0211376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0211376	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mihara Yuki, Horikawa Makoto, Sato Shumpei, Eto Fumihiro, Hanada Mitsuru, Banno Tomohiro, Arima Hideyuki, Ushirozako Hiroki, Yamada Tomohiro, Xu Dongmin, Okamoto Ayako, Yamazaki Fumiyoshi, Takei Shiro, Omura Takao, Yao Ikuko, Matsuyama Yukihiro, Setou Mitsutoshi	4. 巻 698
2. 論文標題 Lysophosphatidic acid precursor levels decrease and an arachidonic acid-containing phosphatidylcholine level increases in the dorsal root ganglion of mice after peripheral nerve injury	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 69 ~ 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.12.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ageta H, Ageta-Ishihara N, Hitachi K, Karayel O, Onouchi T, Yamaguchi H, Kahyo T, Hatanaka K, Ikegami K, Yoshioka Y, Nakamura K, Kosaka N, Nakatani M, Uezumi A, Ide T, Tsutsumi Y,	4. 巻 9
2. 論文標題 UBL3 modification influences protein sorting to small extracellular vesicles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3936
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06197-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeda Makoto, Sakaguchi Takanori, Hiraide Takanori, Shibasaki Yasushi, Morita Yoshifumi, Kikuchi Hirotooshi, Ikegami Koji, Setou Mitsutoshi, Konno Hiroyuki, Takeuchi Hiroya	4. 巻 109
2. 論文標題 Role of caveolin-1 in hepatocellular carcinoma arising from non-alcoholic fatty liver disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2401 ~ 2411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Shumpei, Horikawa Makoto, Kondo Takeshi, Sato Tomohito, Setou Mitsutoshi	4. 巻 8
2. 論文標題 A power law distribution of metabolite abundance levels in mice regardless of the time and spatial scale of analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-28667-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀川誠、武井史郎、瀬藤光利	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティの可視化と操作	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 103-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa Hiroshi, Nakabayashi Ryo, Mori Tetsuya, Yamada Yutaka, Takahashi Mikiko, Rai Amit, Sugiyama Ryosuke, Yamamoto Hiroyuki, Nakaya Taiki, Yamazaki Mami, Kooke Rik, Bac-Molenaar Johanna A., Oztolan-Erol Nihal, Keurentjes Joost J. B., Arita Masanori, Saito Kazuki	4. 巻 16
2. 論文標題 A cheminformatics approach to characterize metabolomes in stable-isotope-labeled organisms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Methods	6. 最初と最後の頁 295 ~ 298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41592-019-0358-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawashima Yusuke, Miyata Jun, Watanabe Takashi, Shioya Juri, Arita Makoto, Ohara Osamu	4. 巻 18
2. 論文標題 Proteogenomic Analyses of Cellular Lysates Using a Phenol-Guanidinium Thiocyanate Reagent	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Proteome Research	6. 最初と最後の頁 301-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jproteome.8b00609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mizukami Tomoharu, Ikeda Kazutaka, Shimanaka Yuta, Korogi Katsunari, Zhou Chunyu, Takase Hiroshi, Tsuiji Hitomi, Kono Nozomu, Kohno Takao, Arai Hiroyuki, Arita Makoto, Hattori Mitsuharu	4. 巻 505
2. 論文標題 Reelin deficiency leads to aberrant lipid composition in mouse brain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 81 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.09.089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Jieping, Chen Chih-Yu, Arita Makoto, Kim Kuijin, Li Xiangyong, Zhang Hongman, Kang Jing X	4. 巻 39
2. 論文標題 An omega-3 polyunsaturated fatty acid derivative, 18-HEPE, protects against CXCR4-associated melanoma metastasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Carcinogenesis	6. 最初と最後の頁 1380-1388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/carcin/bgy117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Burla B, Arita M, Arita M, Bendt AK, Cazenave-Gassiot A, Dennis EA, Ekroos K, Han X, Ikeda K, Liebisch G, Lin MK, Loh TP, Meikle PJ, Oresic M, Quehenberger O, Shevchenko A, Torta F,	4. 巻 59
2. 論文標題 MS-based lipidomics of human blood plasma: a community-initiated position paper to develop accepted guidelines	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 2001 ~ 2017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.S087163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueharaguchi Yuri, Honda Tetsuya, Kusuba Nobuhiro, Hanakawa Sho, Adachi Akimasa, Sawada Yu, Otsuka Atsushi, Kitoh Akihiko, Dainichi Teruki, Egawa Gyohei, Nakashima Chisa, Nakajima Saeko, Murata Teruasa, Ono Sachiko, Arita Makoto, Narumiya Shuh, Miyachi Yoshiki, Kabashima Kenji	4. 巻 142
2. 論文標題 Thromboxane A ₂ facilitates IL-17A production from V α 4 ⁺ T cells and promotes psoriatic dermatitis in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 680 ~ 683.e2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagatake T, Shiogama Y, Inoue A, Kikuta J, Honda T, Tiwari P, Kishi T, Yanagisawa A, Isobe Y, Matsumoto N, Shimojou M, Morimoto S, Suzuki H, Hirata S, Steneberg P, Edlund H, Aoki J, Arita M, Kiyono H, Yasutomi Y, Ishii M, Kabashima K, Kunisawa J.	4. 巻 142
2. 論文標題 The 17,18-epoxyeicosatetraenoic acid-G protein-coupled receptor 40 axis ameliorates contact hypersensitivity by inhibiting neutrophil mobility in mice and cynomolgus macaques	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 470 ~ 484.e12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.09.053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Yamada Miki, Takahashi Naoki, Matsuda Yumi, Sato Keisuke, Yokoji Mai, Sulijaya Benso, Maekawa Tomoki, Ushiki Tatsuo, Mikami Yoshikazu, Hayatsu Manabu, Mizutani Yusuke, Kishino Shigenobu, Ogawa Jun, Arita Makoto, Tabeta Koichi, Maeda Takeyasu, Yamazaki Kazuhisa	4. 巻 8
2. 論文標題 A bacterial metabolite ameliorates periodontal pathogen-induced gingival epithelial barrier disruption via GPR40 signaling	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-27408-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Isobe Yosuke, Itagaki Mai, Ito Yuko, Naoe Satoko, Kojima Kotoe, Ikeguchi Mitsunori, Arita Makoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Comprehensive analysis of the mouse cytochrome P450 family responsible for omega-3 epoxidation of eicosapentaenoic acid	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-26325-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 B. Gowda Siddabasave Gowda, Ikeda Kazutaka, Arita Makoto	4. 巻 410
2. 論文標題 Facile determination of sphingolipids under alkali condition using metal-free column by LC-MS/MS	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Analytical and Bioanalytical Chemistry	6. 最初と最後の頁 4793 ~ 4803
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-018-1116-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hata Masayuki, Ikeda Hanako O., Iwai Sachiko, Iida Yuto, Gotoh Norimoto, Asaka Isao, Ikeda Kazutaka, Isobe Yosuke, Hori Aya, Nakagawa Saori, Yamato Susumu, Arita Makoto, Yoshimura Nagahisa, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 115
2. 論文標題 Reduction of lipid accumulation rescues Bietti's crystalline dystrophy phenotypes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 3936 ~ 3941
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1717338115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe Yosuke, Kawashima Yusuke, Ishihara Tomoaki, Watanabe Kenji, Ohara Osamu, Arita Makoto	4. 巻 13
2. 論文標題 Identification of Protein Targets of 12/15-Lipoxygenase-Derived Lipid Electrophiles in Mouse Peritoneal Macrophages Using Omega-Alkynyl Fatty Acid	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 887 ~ 893
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.7b01092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮田純、有田誠	4. 巻 71
2. 論文標題 アレルギー性好酸球における脂質代謝異常のメタボローム解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科 (科学評論社)	6. 最初と最後の頁 34-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木秀憲、有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 脂肪酸代謝バランスによるマクロファージの機能制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 2353-2357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 概論/リボクオリティから解き明かす生命現象	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1580-1584
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田和貴、青柳良平、有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティを識別するリピドミクス解析技術	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1797-1803
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 津川裕司、池田和貴、有田誠、有田正規	4. 巻 36
2. 論文標題 脂質クオリティを捉える解析手法とデータベース	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1804-1811
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nosaka Takuto, Baba Tomohisa, Tanabe Yamato, Sasaki Soichiro, Nishimura Tatsunori, Imamura Yoshiaki, Yurino Hideaki, Hashimoto Shinichi, Arita Makoto, Nakamoto Yasunari, Mukaida Naofumi	4. 巻 200
2. 論文標題 Alveolar Macrophages Drive Hepatocellular Carcinoma Lung Metastasis by Generating Leukotriene B4	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 1839-1852
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1700544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mochimaru T., Fukunaga K., Miyata J., Matsusaka M., Masaki K., Kabata H., Ueda S., Suzuki Y., Goto T., Urabe D., Inoue M., Isobe Y., Arita M., Betsuyaku T.	4. 巻 73
2. 論文標題 12-OH-17,18-Epoxyeicosatetraenoic acid alleviates eosinophilic airway inflammation in murine lungs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 369 ~ 378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Keita, Sakaguchi Tsuyoshi, Nanba Yutaro, Suganuma Yuta, Morita Masao, Hong Song, Lu Yan, Jun Bokkyoo, Bazan Nicolas G., Arita Makoto, Kobayashi Yuichi	4. 巻 83
2. 論文標題 Stereoselective Total Synthesis of Macrophage-Produced Prohealing 14,21-Dihydroxy Docosahexaenoic Acids	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Organic Chemistry	6. 最初と最後の頁 154 ~ 166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.7b02510	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Codagnone M, Cianci E, Lamolinara A, Mari V C, Nespoli A, Isopi E, Mattoscio D, Arita M, Bragonzi A, Iezzi M, Romano M, Recchiuti A	4. 巻 11
2. 論文標題 Resolvin D1 enhances the resolution of lung inflammation caused by long-term Pseudomonas aeruginosa infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 35 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2017.36	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa Hiroshi, Ikeda Kazutaka, Arita Makoto	4. 巻 1862
2. 論文標題 The importance of bioinformatics for connecting data-driven lipidomics and biological insights	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Molecular and Cell Biology of Lipids	6. 最初と最後の頁 762 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2017.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoyagi Ryohei, Ikeda Kazutaka, Isobe Yosuke, Arita Makoto	4. 巻 58
2. 論文標題 Comprehensive analyses of oxidized phospholipids using a measured MS/MS spectra library	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 2229 ~ 2237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.D077123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Loo TM, Kamachi F, Watanabe Y, Yoshimoto S, Kanda H, Arai Y, Nakajima-Takagi Y, Iwama A, Koga T, Sugimoto Y, Ozawa T, Nakamura M, Kumagai M, Watashi K, Taketo M, Aoki T, Narumiya S, Oshima M, Arita M, Hara E, Ohtani N.	4. 巻 7
2. 論文標題 Gut Microbiota Promotes Obesity-Associated Liver Cancer through PGE Mediated Suppression of Antitumor Immunity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 522 ~ 538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-16-0932	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimanaka Yuta, Kono Nozomu, Taketomi Yoshitaka, Arita Makoto, Okayama Yoshimichi, Tanaka Yuki, Nishito Yasumasa, Mochizuki Tatsuki, Kusuhabara Hiroyuki, Adibekian Alexander, Cravatt Benjamin F, Murakami Makoto, Arai Hiroyuki	4. 巻 23
2. 論文標題 Omega-3 fatty acid epoxides are autocrine mediators that control the magnitude of IgE-mediated mast cell activation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Medicine	6. 最初と最後の頁 1287-1297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nm.4417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yotsumoto Satoshi, Muroi Yuito, Chiba Tatsuya, Ohmura Rio, Yoneyama Maki, Magarisawa Megumi, Dodo Kosuke, Terayama Naoki, Sodeoka Mikiko, Aoyagi Ryohei, Arita Makoto, Arakawa Satoko, Shimizu Shigeomi, Tanaka Masato	4. 巻 7
2. 論文標題 Hyperoxidation of ether-linked phospholipids accelerates neutrophil extracellular trap formation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-15668-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aikawa Shizu, Kano Kuniyuki, Inoue Asuka, Wang Jiao, Saigusa Daisuke, Nagamatsu Takeshi, Hirota Yasushi, Fujii Tomoyuki, Tsuchiya Soken, Taketomi Yoshitaka, Sugimoto Yukihiko, Murakami Makoto, Arita Makoto, Kurano Makoto, Ikeda Hitoshi, Yatomi Yutaka, Chun Jerold, Aoki Junken	4. 巻 36
2. 論文標題 Autotaxin-lysophosphatidic acid-LPA3 signaling at the embryo-epithelial boundary controls decidualization pathways.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 2146 ~ 2160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201696290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lai Zijuan, Tsugawa Hiroshi, Wohlgemuth Gert, Mehta Sajjan, Mueller Matthew, Zheng Yuxuan, Ogiwara Atsushi, Meissen John, Showalter Megan, Takeuchi Kohei, Kind Tobias, Beal Peter, Arita Masanori, Fiehn Oliver	4. 巻 15
2. 論文標題 Identifying metabolites by integrating metabolome databases with mass spectrometry cheminformatics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Methods	6. 最初と最後の頁 53 ~ 56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmeth.4512	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 吉田美桜、磯部洋輔、石原知明、有田誠	4. 巻 50
2. 論文標題 3 脂肪酸由来脂質メディエーターと炎症制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞 (ニューサイエンス社)	6. 最初と最後の頁 8-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永沼達郎、有田誠	4. 巻 25
2. 論文標題 脂肪酸クオリティと炎症・アレルギーの制御	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 炎症と免疫 (先端医学社)	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田正規、津川裕司	4. 巻 72
2. 論文標題 化学とメタボロミクス	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 化学	6. 最初と最後の頁 26-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Hidehiko, Nagatake Takahiro, Nasu Ayaka, Lan Huangwenxian, Ikegami Koji, Setou Mitsutoshi, Hamazaki Yoko, Kiyono Hiroshi, Yagi Kiyohito, Kondoh Masuo, Kunisawa Jun	4. 巻 8
2. 論文標題 Impaired airway mucociliary function reduces antigen-specific IgA immune response to immunization with a claudin-4-targeting nasal vaccine in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-21120-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hama Kotaro, Fujiwara Yuko, Morita Masashi, Yamazaki Fumiyoshi, Nakashima Yuko, Takei Shiro, Takashima Shigeo, Setou Mitsutoshi, Shimozawa Nobuyuki, Imanaka Tsuneo, Yokoyama Kazuaki	4. 巻 53
2. 論文標題 Profiling and Imaging of Phospholipids in Brains of Abcd1-Deficient Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lipids	6. 最初と最後の頁 85 ~ 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lipd.12022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Eiji, Yao Ikuko, Setou Mitsutoshi	4. 巻 495
2. 論文標題 Visualization of local phosphatidylcholine synthesis within hippocampal neurons using a compartmentalized culture system and imaging mass spectrometry	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 1048 ~ 1054
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.11.108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikedo Taichi, Minami Manabu, Kataoka Hiroharu, Hayashi Kosuke, Nagata Manabu, Fujikawa Risako, Yamazaki Fumiyo, Setou Mitsutoshi, Yokode Masayuki, Miyamoto Susumu	4. 巻 495
2. 論文標題 Imaging mass spectroscopy delineates the thinned and thickened walls of intracranial aneurysms	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 332 ~ 338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.10.133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosokawa Yuko, Masaki Noritaka, Takei Shiro, Horikawa Makoto, Matsushita Shoko, Sugiyama Eiji, Ogura Hiroyuki, Shiiya Norihiko, Setou Mitsutoshi	4. 巻 12
2. 論文標題 Recurrent triple-negative breast cancer (TNBC) tissues contain a higher amount of phosphatidylcholine (32:1) than non-recurrent TNBC tissues	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0183724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0183724	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishio Tomohisa, Kurabe Nobuya, Goto-Inoue Naoko, Nakamura Toshio, Sugimura Haruhiko, Setou Mitsutoshi, Maekawa Masato	4. 巻 471
2. 論文標題 Immunohistochemical expression analysis of leucine-rich PPR-motif-containing protein (LRPPRC), a candidate colorectal cancer biomarker identified by shotgun proteomics using iTRAQ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 276 ~ 282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2017.06.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Junya, Nakanishi Hiroki, Kunii Yasuto, Sugiura Yuki, Yuki Dai, Wada Akira, Hino Mizuki, Niwa Shin-ichi, Kondo Takeshi, Waki Michihiko, Hayasaka Takahiro, Masaki Noritaka, Akatsu Hiroyasu, Hashizume Yoshio, Yamamoto Sakon, Sato Shinji, Sasaki Takehiko, Setou Mitsutoshi, Yabe Hirooki	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H, Ikeda K, Tanaka W, Senoo Y, Arita M, Arita M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Comprehensive identification of sphingolipid species by in silico retention time and tandem mass spectral library.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Cheminform	6. 最初と最後の頁 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13321-017-0205-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi T, Anjo T, Kaneko A, Senoo Y, Shibata A, Takama H, Yokoyama K, Nishito Y, Ono T, Taya C, Muramatsu K, Fukami K, Muñoz-Garcia A, Brash AR, Ikeda K, Arita M, Akiyama M, Murakami M	4. 巻 8
2. 論文標題 PNPLA1 has a crucial role in skin barrier function by directing acylceramide biosynthesis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Commun	6. 最初と最後の頁 14609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arita M	4. 巻 65
2. 論文標題 Eosinophil polyunsaturated fatty acid metabolism and its potential control of inflammation and allergy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Allergol Int	6. 最初と最後の頁 S2-S5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2016.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H, Kind T, Nakabayashi R, Yukihiro D, Tanaka W, Cajka T, Saito K, Fiehn O, Arita M	4. 巻 88
2. 論文標題 Hydrogen Rearrangement Rules: Computational MS/MS Fragmentation and Structure Elucidation Using MS-FINDER Software	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anal Chem	6. 最初と最後の頁 7946-7958
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.6b00770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Carroll AJ, Salek RM, Arita M, Kopka J, Walther D	4. 巻 4
2. 論文標題 Editorial: Metabolome Informatics and Statistics: Current State and Emerging Trends	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Front Bioeng Biotechnol	6. 最初と最後の頁 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fbioe.2016.00063	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wohlgemuth G, Mehta SS, Mejia RF, Neumann S, Pedrosa D, Pluskal T, Schymanski EL, Willighagen EL, Wilson M, Wishart DS, Arita M, Dorrestein PC, Bandeira N, Wang M, Schulze T, Salek RM, Steinbeck C, Nainala VC, Mistrik R, Nishioka T, Fiehn O	4. 巻 34
2. 論文標題 SPLASH, a hashed identifier for mass spectra	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Biotechnol	6. 最初と最後の頁 1099-1101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nbt.3689	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 津川裕司、有田正規	4. 巻 54
2. 論文標題 生体内の低分子代謝産物を網羅的に捉えるための新技術	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 化学と生物	6. 最初と最後の頁 151-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 26
2. 論文標題 3 脂肪酸の代謝と抗炎症作用に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脂質栄養学 (日本脂質栄養学会)	6. 最初と最後の頁 27-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 17
2. 論文標題 Overview/リポクオリティが制御する血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 115-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤仁、有田誠	4. 巻 17
2. 論文標題 脂肪酸クオリティ制御と血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 137-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 67
2. 論文標題 リビドミクスによる脂肪酸代謝と疾患制御の解析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学 (医学書院)	6. 最初と最後の頁 189-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shintani-Domoto Y, Hayasaka T, Maeda D, Masaki N, Ito TK, Sakuma K, Tanaka M, Kabashima K, Takei S, Setou M, Fukayama M.	4. 巻 S1570-9639
2. 論文標題 Different desmin peptides are distinctly deposited in cytoplasmic aggregations and cytoplasm of desmin-related cardiomyopathy patients.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta	6. 最初と最後の頁 30048-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbapap.2017.03.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Sugiura Y, Yuki D, Wada A, Hino M, Niwa SI, Kondo T, Waki M, Hayasaka T, Masaki N, Akatsu H, Hashizume Y, Yamamoto S, Sato S, Sasaki T, Setou M, Yabe H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki H, Suzuki T, Ito K, Takahara T, Goto-Inoue N, Setou M, Sakata K, Ishida N.	4. 巻 S0378-1119
2. 論文標題 Minos-insertion mutant of the Drosophila GBA gene homologue showed abnormal phenotypes of climbing ability, sleep and life span with accumulation of hydroxy-glucocerebroside.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Gene.	6. 最初と最後の頁 30139-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2017.03.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Yamamoto N, Suzuki M, Mano Y, Sano M, Zaima N, Sasaki T, Setou M, Unno N.	4. 巻 9
2. 論文標題 Insufficient Lymph Drainage Causes Abnormal Lipid Accumulation and Vein Wall Degeneration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ann Vasc Dis.	6. 最初と最後の頁 277-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3400/avd.oa.16-00122.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ijaz F, Hatanaka Y, Hatanaka T, Tsutsumi K, Iwaki T, Umemura K, Ikegami K, Setou M.	4. 巻 28
2. 論文標題 Proper cytoskeletal architecture beneath the plasma membrane of red blood cells requires Tt114.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell.	6. 最初と最後の頁 535-544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E16-02-0089.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita S, Masaki N, Sato K, Hayasaka T, Sugiyama E, Hui SP, Chiba H, Mase N, Setou M.	4. 巻 409
2. 論文標題 Selective improvement of peptides imaging on tissue by supercritical fluid wash of lipids for matrix-assisted laser desorption/ionization mass spectrometry.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem.	6. 最初と最後の頁 1475-1480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-016-0119-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Phua SC, Chiba S, Suzuki M, Su E, Elle RC, Ganesh PV, Setou M, Rohatgi R, Jeremy RF, Ikegami K, Inoue T.	4. 巻 168
2. 論文標題 Dynamic Remodeling of Membrane Composition Drives Cell Cycle through Primary Cilia Excision.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 264-279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2016.12.032.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kugo H, Zaima N, Tanaka H, Mouri Y, Yanagimoto K, Hayamizu K, Hashimoto K, Sasaki T, Sano M, Yata T, Urano T, Setou M, Unno N, Moriyama T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Adipocyte in vascular wall can induce the rupture of abdominal aortic aneurysm.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 31268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep31268.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiraide T, Ikegami K, Sakaguchi T, Morita Y, Hayasaka T, Masaki N, Waki M, Sugiyama E, Shinriki S, Takeda M, Shibasaki Y, Miyazaki S, Kikuchi H, Okuyama H, Inoue M, Setou M, Konno H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Accumulation of arachidonic acid-containing phosphatidylinositol at the outer edge of colorectal cancer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 29935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep29935.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xu D, Omura T, Masaki N, Arima H, Banno T, Okamoto A, Hanada M, Takei S, Matsushita S, Sugiyama E, Setou M, Matsuyama Y.	4. 巻 6
2. 論文標題 Increased arachidonic acid-containing phosphatidylcholine is associated with reactive microglia and astrocytes in the spinal cord after peripheral nerve injury.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 26427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep26427.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurabe N, Igarashi H, Ohnishi I, Tajima S, Inoue Y, Takahashi Y, Setou M, Sugimura H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Visualization of sphingolipids and phospholipids in the fundic gland mucosa of human stomach using imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World J Gastrointest Pathophysiol.	6. 最初と最後の頁 235-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4291/wjgp.v7.i2.235.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitakaze K, Mizutani Y, Sugiyama E, Tasaki C, Tsuji D, Maita N, Hirokawa T, Asanuma D, Kamiya M, Sato K, Setou M, Urano Y, Togawa T, Otaka A, Sakuraba H, Itoh K.	4. 巻 126
2. 論文標題 Protease-resistant modified human α -hexosaminidase B ameliorates symptoms in GM2 gangliosidosis model.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 1691-703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI85300.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyawaki S, Imai H, Hayasaka T, Masaki N, Ono H, Ochi T, Ito A,	4. 巻 322
2. 論文標題 Imaging mass spectrometry detects dynamic changes of	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience.	6. 最初と最後の頁 66-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2016.02.013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀬藤光利	4. 巻 64
2. 論文標題 質量顕微鏡法の開発とその応用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Mass Spectrom. Soc. Jpn	6. 最初と最後の頁 201-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀川誠、武井史郎、瀬藤光利	4. 巻 67
2. 論文標題 脂質分解イメージングで脂質を"見る"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 198-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakayori N, Kikkawa T, Tokuda H, Kiryu E, Yoshizaki K, Kawashima H, Yamada T, Arai H, Kang JX, Katagiri H, Shibata H, Innis SM, Arita M, Osumi N.	4. 巻 34
2. 論文標題 Maternal dietary balance between omega-6 and omega-3 polyunsaturated fatty acids impairs neocortical development via epoxy metabolites.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 470-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2246.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Endo J, Arita M.	4. 巻 67
2. 論文標題 Cardioprotective mechanism of omega-3 polyunsaturated fatty acids.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cardiol	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjcc.2015.08.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katakura M, Hashimoto M, Inoue T, Mamun AA, Tanabe Y, Arita M, Shido O.	4. 巻 10
2. 論文標題 Chronic arachidonic acid administration decreases docosahexaenoic acid and eicosapentaenoic acid-derived metabolites in kidneys of aged rats.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0140884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0140884.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada Y, Honda T, Hanakawa S, Nakamizo S, Murata T, Ueharaguchi-Tanada Y, Ono S, Amano W, Nakajima S, Egawa G, Tanizaki H, Otsuka A, Kitoh A, Dainichi T, Ogawa N, Kobayashi Y, Yokomizo T, Arita M, Nakamura M, Miyachi Y, Kabashima K.	4. 巻 212
2. 論文標題 Resolvin E1 inhibits dendritic cell migration in the skin and attenuates contact hypersensitivity responses.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 1921-1930
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20150381.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirahashi J, Hanafusa N, Wada T, Arita M, Hishikawa K, Hayashi M, Nangaku M.	4. 巻 54
2. 論文標題 Aspirin and eicosapentaenoic acid may arrest progressive IgA nephropathy: a potential alternative to immunosuppression.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 2377-2382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.54.4623.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakato M, Matsuo M, Kono N, Arita M, Arai H, Ogawa J, Kioka N, Ueda K.	4. 巻 56
2. 論文標題 Neurite outgrowth stimulation by n3 and n6 polyunsaturated fatty acids of phospholipids in apolipoprotein E containing lipoproteins secreted from glial cells.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 1880-1890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M058164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto T, Urabe D, Masuda K, Isobe Y, Arita M, Inoue M.	4. 巻 80
2. 論文標題 Total synthesis of four stereoisomers of (4Z,7Z,10Z,12E,16Z,18E)-14,20-dihydroxy-4,7,10,12,16,18-docosahexaenoic acid and their anti-inflammatory activities.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Org Chem	6. 最初と最後の頁 7713-7726
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.5b01461.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kunisawa J, Arita M, Hayasaka T, Harada T, Iwamoto R, Nagasawa R, Shikata S, Nagatake T, Suzuki H, Hashimoto E, Kurashima Y, Suzuki Y, Arai H, Setou M, Kiyono H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Dietary 3 fatty acid exerts anti-allergic effect through the conversion to 17,18-epoxyeicostetraenoic acid in the gut.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 9750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep09750.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masterson JC, McNamee EN, Fillon SA, Hosford L, Harris R, Fernando SD, Jedlicka P, Iwamoto R, Jacobsen E, Protheroe C, Eltzschig HK, Colgan SP, Arita M, Lee JJ, Furuta GT.	4. 巻 64
2. 論文標題 Eosinophil-mediated signaling attenuates inflammatory responses in experimental colitis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gut	6. 最初と最後の頁 1236-1247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/gutjnl-2014-306998.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsgawa H, Cajka T, Kind T, Ma Y, Higgins B, Ikeda K, Kanazawa M, VanderGheynst J, Fiehn O, Arita M.	4. 巻 12
2. 論文標題 MS-DIAL: data-independent MS/MS deconvolution for comprehensive metabolome analysis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Methods	6. 最初と最後の頁 523-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmeth.3393.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 有田誠	4. 巻 46
2. 論文標題 脂肪酸クオリティによる炎症性疾患の制御	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 感染炎症免疫	6. 最初と最後の頁 22-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 11
2. 論文標題 3 脂肪酸の分子栄養学	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 アンチエイジング医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 845-851
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 41
2. 論文標題 3 脂肪酸のメタボローム解析と心臓リモデリング抑制作用	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 内分泌・糖尿病・代謝内科 (科学評論社)	6. 最初と最後の頁 380-384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 254
2. 論文標題 多価不飽和脂肪酸の代謝と炎症の制御	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1127-1130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 33
2. 論文標題 3 脂肪酸の代謝と疾患制御のメタボロミクス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学増刊号「脂質疾患学」(羊土社)	6. 最初と最後の頁 2361-2366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 4
2. 論文標題 炎症の収束に関わる脂肪酸代謝系とその機能	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 別冊B10 Clinica「慢性炎症と疾患」(北隆館)	6. 最初と最後の頁 27-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 63
2. 論文標題 脂肪酸代謝と炎症のメタボロミクス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科(科学評論社)	6. 最初と最後の頁 118-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 4
2. 論文標題 3 脂肪酸の代謝と心臓保護作用	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 別冊B10 Clinica「慢性炎症と疾患」(北隆館)	6. 最初と最後の頁 99-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠、遠藤仁	4. 巻 15
2. 論文標題 3系多価不飽和脂肪酸による心臓リモデリング抑制	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 循環plus (メディカルトリビューン社)	6. 最初と最後の頁 7-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rocca-Serra P, Salek RM, Arita M, Correa E, Dayalan S, Gonzalez-Beltran A, Ebbels T, Goodacre R, Hastings J, Haug K, Koulman A, Nikolski M, Oresic M, Sansone SA, Schober D, Smith J, Steinbeck C, Viant MR, Neumann S	4. 巻 12
2. 論文標題 Data standards can boost metabolomics research, and if there is a will, there is a way	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Metabolomics	6. 最初と最後の頁 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11306-015-0879-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐野圭吾、深野華、有久巨、瀬藤光利	4. 巻 34
2. 論文標題 質量顕微鏡の原理とその応用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 病理と臨床	6. 最初と最後の頁 203-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Zaima N, Sasaki T, Yamamoto N, Inuzuka K, Sano M, Konno H, Urano T, Setou M, Unno N.	4. 巻 23
2. 論文標題 Characteristic Distribution Pattern of Lysophosphatidylcholine in Fibromuscular Dysplasia-Associated Visceral Artery Aneurysms Compared with Atherosclerotic Visceral Artery Aneurysms.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Atheroscler Thromb.	6. 最初と最後の頁 673-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5551/jat.32318.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Senoo N, Miyoshi N, Goto-Inoue N, Minami K, Yoshimura R, Morita A, Sawada N, Matsuda J, Ogawa J.	4. 巻 56
2. 論文標題 PGC-1 -mediated changes in phospholipid profiles of exercise-trained skeletal muscle.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Lipid Res.	6. 最初と最後の頁 2286-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M060533.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamazaki K, Masaki M, Kohmura-Kobayashi Y, Chizuko Y, Hayasaka T, Itoh H, Setou M, Kanayama N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Decrease in Sphingomyelin (d18:1/16:0) in Stem Villi and Phosphatidylcholine (16:0/20:4) in Terminal Villi of Human Term Placentas with Pathohistological Maternal Malperfusion.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLos One	6. 最初と最後の頁 e0142609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0142609.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamaki-Hirano W, Sugiyama E, Hayasaka T, Ravid R, Setou M, Taki T.	4. 巻 589
2. 論文標題 Alzheimer 's disease is associated with disordered localization of ganglioside GM1 molecular species in the human dentate gyrus.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 FEBS Lett.	6. 最初と最後の頁 3611-3616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.febslet.2015.09.033.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama E, Masaki N, Matsushita S, Setou M.	4. 巻 87
2. 論文標題 Ammonium sulfate improves detection of hydrophilic quaternary ammonium compounds through decreased ion suppression in matrix-assisted laser desorption/ionization imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Chem.	6. 最初と最後の頁 11176-11181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.5b02672.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Zaima N, Sasaki T, Yamamoto N, Inuzuka K, Sano M, Saito T, Hayasaka T, Goto-Inoue N, Sato K, Kugoe H, Moriyamae T, Konno H, Setou M, Unno N.	4. 巻 52
2. 論文標題 Imaging mass spectrometry reveals a unique distribution of triglycerides in	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Vasc Res.	6. 最初と最後の頁 127-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000439169.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hameed S, Ikegami K, Sugiyama E, Matsushita S, Kimura Y, Hayasaka T, Sugiura Y, Masaki N, Waki M,	4. 巻 407
2. 論文標題 Direct profiling of the phospholipid composition of adult <i>Caenorhabditis elegans</i> using whole-body imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem.	6. 最初と最後の頁 7589-7602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-015-8932-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Zaima N, Sasaki T, Sano M, Yamamoto N, Saito T, Inuzuka K, Hayasaka T, Goto-Inoue N, Sato K,	4. 巻 10
2. 論文標題 Hypoperfusion of the Adventitial Vasa Vasorum Develops an Abdominal Aortic Aneurysm.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0134386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0134386.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki T, Shimoda M, Ito K, Hanai S, Aizawa H, Kato T, Kawasaki K, Yamaguchi T, Ryoo HD, Goto-Inoue N,	4. 巻 10
2. 論文標題 Expression of Human Gaucher Disease Gene GBA Generates Neurodevelopmental Defects and ER Stress in <i>Drosophila</i> Eye.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0135619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0135619.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumpownon C, Engsusophon A, Siangcham T, Sugiyama E, Soonklang N, Meeratana P, Wanichanon C, Hanna PJ, Setou M, Sobhon P.	4. 巻 1
2. 論文標題 Variation of prostaglandin E2 concentrations in ovaries and its effects on ovarian maturation and oocyte proliferation in the giant fresh water prawn, <i>Macrobrachium rosenbergii</i>	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gen Comp Endocrinol.	6. 最初と最後の頁 129-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygcen.2015.04.019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kunisawa J, Arita M, Hayasaka T, Harada T, Iwamoto R, Nagasawa R, Shikata S, Nagatake T, Suzuki H, Hashimoto E, Kurashima Y, Suzuki Y, Arai H, Setou M, Kiyono H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Dietary 3 fatty acid exerts anti-allergic effect through the conversion to 17,18-epoxyeicosatetraenoic acid in the gut.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 9750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep9750.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki N, Ishizaki I, Hayasaka T, Fisher GL, Sanada N, Yokota H, Setou M.	4. 巻 5
2. 論文標題 Three-Dimensional Image of Cleavage Bodies in Nuclei Is Configured Using Gas Cluster Ion Beam with Time-of-Flight Secondary Ion Mass Spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 10000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep10000.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hossen MA, Nagata Y, Waki M, Ide Y, Takei S, Fukano H, Romero-Perez GA, Tajima S, Yao I, Ohnishi K,	4. 巻 407
2. 論文標題 Decreased level of phosphatidylcholine (16:0/20:4) in multiple myeloma cells compared to plasma cells: A single-cell MALDI-IMS approach.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem.	6. 最初と最後の頁 5273-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-015-8741-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arima H, Omura T, Hayasaka T, Masaki N, Hanada M, Xu D, Banno T, Kobayashi K, Takeuchi H,	4. 巻 297
2. 論文標題 Reductions of docosahexaenoic acid-containing phosphatidylcholine levels in the anterior horn of an ALS mouse model.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience.	6. 最初と最後の頁 127-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2015.03.060.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計199件 (うち招待講演 126件 / うち国際学会 62件)

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 (特別講演) リポクオリティの生物学: 炎症や組織恒常性を制御する 3 脂肪酸代謝カスケード
3. 学会等名 第93回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Advanced lipidomics to unveil the potential link between lipid metabolism and biological phenotypes
3. 学会等名 RIKEN Glyco-lipidologue Project Symposium 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポドミクス新技術による病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 JKiC研究開発フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 (特別講演)リポクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第6回公開シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態・バイオロジーを制御する多彩なりポクオリティ
3. 学会等名 第30回分子糖尿病学シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism that confers anti-inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Biology of LipoQuality: Omega-3 fatty acid cascade that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyata J, Fukunaga K, Kawashima Y, Watanabe T, Saitoh A, Hirosaki T, Ohara O, Arita M
2. 発表標題 Dysregulated fatty acid metabolism in eosinophils from patients with severe asthma and eosinophilic chronic rhinosinusitis
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shishikura K, Kuroha S, Matsueda S, Iseki H, Matsui T, Inoue A, Arita M
2. 発表標題 Acyl-CoA synthetase 6 regulates composition of membrane phospholipids in spermatids and supports normal spermatogenesis in mice
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of Lipid Quality (LipoQuality) in biological systems
3. 学会等名 HMS CET-RI Seminar Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒羽小羊子、堅田侑作、宍倉匡祐、栗原俊英、有田誠
2. 発表標題 網膜中DHA含有リン脂質の生理学的意義の解明
3. 学会等名 第13回メタボロームシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津川裕司、池田和貴、高橋みき子、有田正規、有田誠
2. 発表標題 MS-DIAL4.0によるlipidomics standards initiativeに基づく120脂質クラスの包括的解析
3. 学会等名 第13回メタボロームシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 5th LipidALL International Lipid Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Polyunsaturated fatty acid metabolism that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 2019 NHR1/IBMS joint International Conference on Inflammation and Disease（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティと脂質栄養
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第28回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 炎症や組織恒常性を制御する 3 脂肪酸代謝カスケード
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東瑛美、山根剛、宮田純、有田誠
2. 発表標題 好酸球性気道炎症における12/15-リポキシゲナーゼの機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野祐介、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 ヒト培養ケラチノサイトにおける脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋優花、小川護、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性結膜炎における12/15-リポキシゲナーゼの機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守先由輝子、岡橋伸幸、高藤真由子、池田和貴、有田誠
2. 発表標題 共役リノール酸が脂質代謝に与える影響の包括的解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡橋伸幸、安田柊、上田政宏、津川裕司、池田和貴、有田誠
2. 発表標題 LC-Q-TOFMSを用いた腸内細菌代謝物のノンターゲットリピドミクス
3. 学会等名 第44回日本医用マススペクトル学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野愛美、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性接触性皮膚炎の病態形成過程における脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of omega-3/6 fatty acid balance in inflammation and related diseases
3. 学会等名 The 3rd JCS Council Forum on Basic Cardiovascular research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野愛美、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性接触性皮膚炎の病態制御に関わる脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iino Y, Naganuma T, Arita M
2. 発表標題 Untargeted lipidomics revealed dysregulated ceramide metabolism in the initiation phase of atopic dermatitis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida M, Ishihara T, Arita M
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid epoxygenase is involved in the regulation of immunological homeostasis in the skin
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aoki H, Kang JX, Arita M.
2. 発表標題 Fat-1 transgenic mice exhibit less fibrosis and inflammatory phenotypes in nonalcoholic fatty liver disease
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirata T, Ikeda K, Yamamoto K, Arita M
2. 発表標題 Untargeted lipidomics of human vascular endothelial cells under shear stress
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oka Y, Yonejima Y, Yasuda S, Arita M
2. 発表標題 Gut microbial metabolite 10-hydroxy-cis-12-octadecaenoic acid (HYA), a novel postbiotics with anti-inflammatory property
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sasaki H, Kaneda Y, Rogi T, Shibata H, Aoyagi R, Ikeda K, Arita M
2. 発表標題 Age-associated changes in phospholipid profiles and polyunsaturated fatty acid metabolism in the brain: a lipidomics analysis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyata J, Fukunaga K, Kawashima Y, Watanabe T, Saitoh A, Hirosaki T, Ohara O, Arita M
2. 発表標題 Dysregulated fatty acid metabolism in nasal polyp-derived eosinophils from patients with chronic rhinosinusitis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa M, Isobe Y, Ishihara T, Uchno Y, tsubota K, Arita M
2. 発表標題 Eosinophils promote corneal wound healing via the 12/15-lipoxygenase pathway
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda K, Yasuda S, Arita M
2. 発表標題 Multi-lipidomics for grasping metabolic crosstalk between host and intestinal bacteria
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsugawa H, Satoh A, Uchino H, Takahashi M, Arita M, Arita M
2. 発表標題 A computational workflow to link untargeted and targeted lipidomics
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsugawa H, Ikeda K, Suwa K, Arita M, Arita M
2. 発表標題 Database for understanding the quality of lipids
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Biology of LipoQuality: omega-3 fatty acid cascade that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質代謝とアレルギー性炎症
3. 学会等名 第68回日本アレルギー学会学術集会 (会長企画JSA-JSIシンポジウム) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 オメガ3脂肪酸代謝による疾患制御
3. 学会等名 第73回日本栄養・食糧学会シンポジウム (油脂・コレステロール研究会共催) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems
3. 学会等名 William Harvey Research Institute Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Cheminformatics for Predicting Structures from Mass Spectra
3. 学会等名 1st Annual Conference of Chinese Society of Metabolomics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Data sharing and the power of omics integration
3. 学会等名 6th Global Forum of Leaders for Agricultural Science and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Promoting trans-omics study through the project of "Imaging Platform"
3. 学会等名 The 29th Hot Spring Harbor International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 生体試料を光で判別するための分析シート
3. 学会等名 ライフサイエンス 新技術説明会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 顕微質量分析法の分子解剖学への展開と新分野の開拓
3. 学会等名 日本学術振興会マイクロビームアナリシス141委員会 受賞記念講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡について
3. 学会等名 第15回日本ファブリー病フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Mass Spectrometry based imaging of LipoQuality
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量分析技術の老化研究への応用
3. 学会等名 第19回日本抗加齢学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 脂質のマスイメージング
3. 学会等名 第67回質量分析総合討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 細胞外微粒子の質量分析による分子解剖
3. 学会等名 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 顕微鏡技術と質量分析技術の融合で見えてくる新しい細胞間コミュニケーション
3. 学会等名 京都大学大学院工学研究科
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡で見えてくるブレインサイエンス
3. 学会等名 鹿児島ブレインサイエンスカンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 DESIイメージングの実際
3. 学会等名 Waters MS forum (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 DESIイメージングの実際
3. 学会等名 Waters MS forum (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量イメージング
3. 学会等名 AMED-CREST 質量分析講習会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Mass Spectrometry Imaging for Metabolomics in diseases and translational research "
3. 学会等名 2018 Joint Meeting of 22nd International Symposium on MDO and 33rd JSSX Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 健康長寿を目指した光量子技術の開発
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 TC201/WG4:Surface Characterization of Biomaterials
3. 学会等名 Meeting of TC201 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 WG4-Biomaterials Handing for Surface Analysis
3. 学会等名 Meeting of TC201 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 TOF-SIMSの医学・生物学応用の最前線
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 イメージングと質量分析
3. 学会等名 第43回日本医用マスペクトル学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 超臨界組織洗浄による高分子の組織内分布解析
3. 学会等名 第3回日本医用マスペクトル学会西部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡とその老化関連疾患研究への応用
3. 学会等名 第61回日本腎臓学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 分子の重さを可視化する:質量分析イメージングの最前線
3. 学会等名 第31回Future of Radiology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 病気の解明・診断や植物分野の研究への質量顕微鏡の活用
3. 学会等名 医学生物学電子顕微鏡技術学会第34回学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡とその老化・内分泌代謝疾患研究への応用
3. 学会等名 第22回日本心血管内分泌代謝学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田正規
2. 発表標題 Open genome analysis in the post-genomic era
3. 学会等名 International Workshop on Data Science（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田正規
2. 発表標題 Computational Metabolomics
3. 学会等名 6th Annual Korea Metabolomics Society（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 生体制御に関わる多彩なりボクオリティ
3. 学会等名 日本農芸化学会2019年度大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 第10回記念JBFシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3 脂肪酸が心臓を保護する仕組みと体内脂肪酸バランスの重要性
3. 学会等名 第5回東京心臓リハビリテーションセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems
3. 学会等名 3rd McGill-RIKEN Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Genetics and lipidomics of omega-3 polyunsaturated fatty acid biology
3. 学会等名 The 3rd International Symposium on Lipids Science and Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems (Keynote Lecture)
3. 学会等名 8th Mind-Body Interface International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 レドックス・ライフィノーション第170委員会、日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第189委員会合同シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 BioJapan2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティと脂質栄養（教育講演）
3. 学会等名 第40回日本臨床栄養学会総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 生体制御に関わる多彩なりポクオリティ
3. 学会等名 Fatty Acids at the Cutting Edge (FACE)研究会2018（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯野雄大、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎マウスにおける脂質代謝異常の網羅的解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋本怜暉、青柳良平、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 酸化脂肪酸の膜リン脂質アシル化を担う酵素の探索と機能解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田美桜、石原知明、有田誠
2. 発表標題 3 脂肪酸オキシゲナーゼの皮膚恒常性における役割
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大泉建貴、岡橋伸幸、宣旭、磯部洋輔、有田誠
2. 発表標題 レチノイン酸産生酵素Aldh1a1による腸管恒常性維持機構の解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Advanced lipidomics strategy to identify bioactive lipids
3. 学会等名 ZPM-RIKEN Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究が解き明かすもの-- 3 脂肪酸の代謝と抗炎症作用--
3. 学会等名 第50回日本動脈硬化学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 第4回京都大学ウイルス・再生医科学研究所生命情報研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 健康維持における脂肪酸クオリティの重要性
3. 学会等名 第40回日本血栓止血学会サテライトシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質代謝とアレルギー（教育講演）
3. 学会等名 第67回日本アレルギー学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 富山県創薬研究開発センター開所記念シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯野雄大、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎発症に関わる脂質代謝系の網羅的解析
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 酸化脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第71回日本酸化ストレス学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティを捉える最先端リポミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第91回日本内分泌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第55回日本臨床分子医学会学術集会「エネルギー代謝研究の新しいアプローチ」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Genetics and Lipidomics of Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acid Biology
3. 学会等名 Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology, The Resolution of Inflammation in Health and Disease（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological system
3. 学会等名 7th International Singapore Lipid Symposium 2018 (iSLS7) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる病態制御
3. 学会等名 第5回病態制御内科学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 Advanced Seminar Series on Microbiology and Immunology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティと疾患の制御
3. 学会等名 第20回動脈硬化研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 オメガ3脂肪酸の機能性代謝物の同定を指向した最先端リポドミクス
3. 学会等名 日本薬物動態学会第32回年会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究が解き明かすもの - 3脂肪酸の代謝と抗炎症作用-
3. 学会等名 油脂物性フォーラム2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism in controlling inflammation and related diseases
3. 学会等名 7th Mind-Body Interface International Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第25回東北生活習慣病研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Eosinophil polyunsaturated fatty acid metabolism and its potential control of inflammation and allergy
3. 学会等名 15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of lipoquality in biological systems
3. 学会等名 The 1st International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクスによる機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 11th Shimadzu Evening Forum in JASIS2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Identifying Metabolites with Theoretical References
3. 学会等名 The 26th International KOGO Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝バランスによる炎症性疾患の制御
3. 学会等名 第38回日本炎症・再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Prediction of Molecular Structures from their Spectra
3. 学会等名 The 4th International Conference on Plant Metabolism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomics and discovery of novel bioactive omega-3 fatty acid metabolites
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Lipid Science and Biotechnology (ISLSB2017)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 「第2回 臨床化学の進歩が変える薬物治療 ～ 臨床病態解析からのアプローチ～」臨床検体の質量分析イメージングについて
3. 学会等名 日本薬学会第138年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 Imaging in Drug Development and the application of DESI
3. 学会等名 第9回Japan Bioanalysis Forum シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量分析イメージングの生体応用の最近の進展
3. 学会等名 第1回共用設備基盤センターシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Imaging Mass Spectrometry (座長)
3. 学会等名 The 7th Asia Oceania Mass Spectrometry Conference (AOMSC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Launch of International Mass Imaging Center Japan
3. 学会等名 The 7th Asia Oceania Mass Spectrometry Conference (AOMSC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Quantum Technology Based Life Science
3. 学会等名 11th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices ' 17 (会期: 12/3-12/8) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量顕微鏡とその老化研究への応用
3. 学会等名 なし
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量分析技術と顕微鏡技術の融合～健康長寿を目指して～
3. 学会等名 第8回日本質量分析学会中部談話会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 座長
3. 学会等名 International Conference on Lipoquolity (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 国際セッション(オーガナイザー)
3. 学会等名 第42回日本医用マスメクトル学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 Quality of Lipids in Biological Systems
3. 学会等名 International Symposium on Imaging Frontier 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 リボクオリティのイメージング
3. 学会等名 「新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第3回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 光・量子技術の脳と末梢の研究への応用
3. 学会等名 脳科学セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 GCIB-TOF-SIMSを用いた細胞内脂質分布の解析
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 リボクオリティの細胞内局在と細胞機能（オーガナイザー）
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量顕微鏡の開発と医学研究への応用展開
3. 学会等名 第73回日本顕微鏡学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 顕微鏡学とイオン分析の融合（座長）
3. 学会等名 第73回日本顕微鏡学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 顕微鏡技術と質量分析技術の融合
3. 学会等名 第17回日本NO学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法の病理学応用に向けて
3. 学会等名 第106回日本病理学会総会シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Laboratory for Metabolomics, RIKEN-IMS
3. 学会等名 University of Strasbourg-RIKEN Workshop on Membrane Lipidology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Computational Lipidomics
3. 学会等名 University of Strasbourg-RIKEN Workshop on Membrane Lipidology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究から解き明かす生命現象
3. 学会等名 第41回皮膚科免疫セミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism in controlling inflammation and related diseases
3. 学会等名 4th International Forum on Omega-3 and human Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomics & Discovery of Novel Bioactive Omega-3 Metabolites
3. 学会等名 ISOR Inaugural Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 日本食品免疫学会第11回宿泊セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 Advanced lipidomics to understand the quality difference of fatty acids in biological systems
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会（MBSJ2016）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3脂肪酸はなぜ体に良いのか、その分子メカニズムに迫る
3. 学会等名 日本抗加齢医学会エデュケーショナルセミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第27回クロマトグラフィー科学会議（SCS27）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第168回東京脂質談話会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第50回千葉大学リーディング大学院セミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 慢性炎症の生物学：脂肪酸代謝バランスによる炎症性疾患の制御
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 ランス賞学術賞受賞講演： 3脂肪酸の代謝と抗炎症作用に関する研究
3. 学会等名 脂質栄養学会第25回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第48回日本動脈硬化学会・学術集会モーニングセミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第43回BMSコンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティによる疾患制御
3. 学会等名 第4回Hepato-Diabetology Conference(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 魚油に含まれるオメガ3脂肪酸の代謝と抗炎症作用
3. 学会等名 第70回日本栄養・食糧学会中部支部大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティによる炎症病態の制御
3. 学会等名 第4回信濃町消化器病カンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 好酸球の脂肪酸代謝と炎症・アレルギーの制御
3. 学会等名 第65回日本アレルギー学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Emerging roles of lipid metabolism in phagocyte function
3. 学会等名 The 24th International Symposium on Molecular Cell Biology of Macrophages (MMCB2016)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティから解き明かす生命現象
3. 学会等名 第11回TRPs and SOCs研究会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 n-3系脂肪酸の代謝と抗炎症作用
3. 学会等名 第18回マリンバイオテクノロジー学会大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 (Plenary Lecture) Lipidomic approach to uncover anti-inflammatory properties of omega-3 polyunsaturated fatty acids
3. 学会等名 2016 Korea-Japan Bioactive Lipid Joint Symposium(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上浩司
2. 発表標題 一次繊毛の切断および繊毛断片の放出
3. 学会等名 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 堀川誠
2. 発表標題 TOF-SIMSを用いた細胞内脂肪酸分布のイメージング
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉山栄二
2. 発表標題 神経突起内局所脂質代謝動態を解析可能にする分析系の構築
3. 学会等名 日本薬学会第137回年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 心血管分子イメージングの未来：基礎 臨床の連携
3. 学会等名 第81回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量分析イメージングが可能にしたヘルスケア新製品開発
3. 学会等名 日本化学会第97春季年会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 最近のマスイメージングの進歩
3. 学会等名 第37回日本トリプトファン研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Koji Ikegami, Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Evidence for release of ciliary components into extracellular fluid
3. 学会等名 シリア・中心体国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 TOF-SIMSを用いたナノイメージングと医学分野への応用
3. 学会等名 第44回 薄膜・表面物理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 武井史郎、中嶋裕子、山崎文義、正木紀隆、杉山栄二、松下祥子、瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法を用いた超微形態レベルでの脂質解析における酢酸ウランの有用性
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第72回学術講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上浩司
2. 発表標題 刺激に対する繊毛のレスポンス
3. 学会等名 琉球大学リサーチカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Imaging mass spectrometry of lipids for spinal cord neuropathology.
3. 学会等名 日本脂質生化学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Platform of functional metabolic imaging
3. 学会等名 11th Asia-Pacific Microscopy Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武井史郎、中嶋裕子、山崎文義、正木紀隆、杉山栄二、松下祥子、瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法を用いた超微形態レベルでの脂質解析における酢酸ウランの有用性
3. 学会等名 医学生物学電子顕微鏡技術学会 第32回学術講演会および総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 中長期企画講演：脂肪酸クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義
3. 学会等名 日本化学会第96春季年会2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Quality of Lipids in Health and Disease
3. 学会等名 Academia Sinica IBMS-RIKEN IMS Joint Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Quality of Lipids in Health and Disease
3. 学会等名 Environment controlling normal and diseased hematopoietic and immune systems (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第1回生活習慣病とがんの代謝栄養メカニズム研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティの修飾による生体制御
3. 学会等名 国際高等研究所プロジェクト「生命活動を生体高分子への修飾から俯瞰する」平成27年度研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 第三世代の脂質メディエーター・ 3 脂肪酸代謝物の抗炎症作用
3. 学会等名 第 37 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リビドミクス新技術による機能性脂質の探索研究の新展開
3. 学会等名 第 8 回セラミド研究会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝と炎症・アレルギーの制御
3. 学会等名 アレルギー・好酸球研究会2015 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティと炎症の制御
3. 学会等名 日本食品免疫学会第11回学術集会 (JAFI2015) (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究から解き明かす生命現象
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田和貴、妹尾勇弥、有田誠
2. 発表標題 リボクオリティを識別するノンターゲット解析
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質クオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第40回医用マスペクトル学会年会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Emerging roles of omega-3 fatty acid metabolites in controlling inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 12th World Congress of Inflammation（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomic approach to uncover anti-inflammatory properties of omega-3 polyunsaturated fatty acids
3. 学会等名 14th International Conference of Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝バランスと炎症の制御
3. 学会等名 第20回シェーグレン症候群セミナー(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Comprehensive lipidomics and Mass/LipidBank databases
3. 学会等名 日本分子生物・生化学会大会(BMB2015)(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 マスマージングが明らかにする脂質の分布とその意義
3. 学会等名 日本化学会第96春季年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Platform of functional metabolic imaging
3. 学会等名 日独国際ワークショップ（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 リボクオリティの可視化
3. 学会等名 第36回白金シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Development and application of imaging mass spectrometry
3. 学会等名 第8回NAGOYAグローバルリトリート（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 硫安添加に超臨界、質量分析イメージングの新しいテクニックについて
3. 学会等名 第16回日本質量分析学会北海道談話会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法によるリポクオリティの可視化
3. 学会等名 CVMW2015
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Single cell lipidomics approach for diseases
3. 学会等名 Biochemistry and Molecular Biology 2015
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池上浩司
2. 発表標題 一時繊毛端の切断・遊離
3. 学会等名 第6回繊毛研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 イメージングMSとマトリックス効果
3. 学会等名 第8回 LC/MSワークショップ(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡の世界
3. 学会等名 第56回日本組織細胞化学会 総会・学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉山栄二, 正木紀隆, 松下祥子, 瀬藤光利
2. 発表標題 硫酸アンモニウムはマトリックス添加剤としてMALDI-IMSにおける脳内カルニチン、アセチルカルニチン、グリセロホスホコリン由来のシグナルを10倍以上増強する
3. 学会等名 第40回日本医用マスペクトル学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 リボクオリティの可視化
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Three-Dimensional Image of Cleavage Bodies in Nuclei Is Configured Using Gas Cluster Ion Beam with Time-of-Flight Secondary Ion Mass Spectrometry
3. 学会等名 IV International Conference on Analytical Proteomics(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉山栄二、正木紀隆、松下祥子、瀬藤光利
2. 発表標題 硫酸アンモニウムによるイオン化抑制解除によってMALDI-IMSにおける脳内カルニチン、アセチルカルニチン、グリセロホスホコリンのシグナルが10倍以上増強する
3. 学会等名 第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法による組織細胞化学
3. 学会等名 第40回組織細胞化学講習会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 健康管理のためのバイオイメージング計測の現状と課題
3. 学会等名 京都バイオ計測センターシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 網羅的脂質解析を用いた抗癌剤感受性機構の解析
3. 学会等名 機器分析ユーズフォーラム2015（招待講演）
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 6
3. 書名 脂質解析ハンドブック	

1. 著者名 池田和貴、有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 6
3. 書名 今すぐ始めるメタゲノム解析実験プロトコール	

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 9
3. 書名 そうだったんだ脂質異常症	

1. 著者名 Makoto Arita	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 8
3. 書名 Chronic Inflammation, Mechanisms and Regulation (Miyasaka M, Takatsu K, eds.)	

1. 著者名 瀬藤光利	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本化学会	5. 総ページ数 2
3. 書名 先端計測 研究を支える機器開発	

1. 著者名 磯部洋輔、池田和貴、有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 NTS	5. 総ページ数 6
3. 書名 ヒトマイクロバイオーム研究最前線	

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2015年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 3
3. 書名 サイトカイン・増殖因子キーワード事典（宮園浩平，秋山徹，宮島篤，宮澤恵二編）	

1. 著者名 Yosuke Isobe, Makoto Arita	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer Japan	5. 総ページ数 8
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators: Current Reviews and Protocols	

1. 著者名 Yao I, Romero-Perez GA, Nicolaescu D, Setou M.	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer Japan	5. 総ページ数 20
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators Current Reviews and Protocols.	

〔出願〕 計2件

産業財産権の名称 ミトコンドリア機能改善剤	発明者 伊藤孝、瀬藤光利、 他3名	権利者 浜松医科大学、 株式会社明治
産業財産権の種類、番号 特許、-	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 分析用シート	発明者 瀬藤光利、山崎文 義、中嶋裕子	権利者 浜松医科大学
産業財産権の種類、番号 特許、-	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計1件

産業財産権の名称 質量分析データ処理方法及び装置	発明者 瀬藤光利 他5名	権利者 浜松医科大学、 島津製作所、癌 研究会、慶應義
産業財産権の種類、番号 特許、10,012,572	取得年 2018年	国内・外国の別 外国

〔その他〕

<p>リポクオリティ領域HP https://sites.google.com/site/lipoqualityjpn/ 理研IMSメタボローム研究チームHP http://www.ims.riken.jp/labo/53/index_j.html 慶應義塾大学薬学部代謝生理化学講座HP http://www.pha.keio.ac.jp/research/pcm/index.html 横浜市大大学院生命医科学研究科代謝エビゲノム科学HP http://www.mls.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp/lab/cme.html 国立大学法人 浜松医科大学 細胞解剖学講座 https://www.hama-med.ac.jp/mt/setou/ja/ 国立遺伝学研究所生命ネットワーク研究室HP http://www.nig.ac.jp/nig/ja/research/organization-top/laboratories/arita</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	有田 正規 (Arita Masanori) (10356389)	国立遺伝学研究所・生命情報研究センター・教授 (63801)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	瀬藤 光利 (Setou Mitsutoshi) (20302664)	浜松医科大学・国際マスメーキングセンター・センター長 (13802)	